


STEP 2 答え合わせ 5分

Track 04 をもう一度聞き、下線部を参照して答え合わせをしましょう。訳も参照してください。丸数字の箇所は [今月のルール] で解説します。

Will Fitzgibbon (journalist): But ^①what's amazing about Panama Papers is that in a number of cases, we see specific requests by certain ^②individuals and companies to create an offshore company with the specific intention of paying less tax than they would if they did not have that offshore company. And ^③that's a concern. We also see ^④documents in Panama Papers from governments who have written to these companies to say, "We believe that the only reason you created this offshore company was to avoid our national taxes on oil, gas or minerals."

訳 ウィル・フィッツギボン (ジャーナリスト) : ただ、パナマ文書で画期的なのは、多くの事例において、オフショア企業を作りたいという、特定の個人や企業による明確な要望が見受けられ、それは、そのオフショア企業がない場合に支払っていたであろう金額よりも税金を安く支払う、という具体的な目的に基づいているということです。そして、それが懸案事項となっています。また、パナマ文書の中には、複数の政府がこうした企業に向けて書いた文書も見受けられます、「貴社がこのオフショア企業を立ち上げた唯一の目的は、わが国の原油、天然ガス、あるいは鉱物に対する税金を回避しようとするためだと確信している」と伝えるために。

[今月のルール] [s][ts][z] + 母音
[応用編]
[s][ts][z] の後の機能語に要注意

① では what's amazing が連結して「ワッツァメイジン」のように聞こえるが、ここは問題ないだろう。一方、基本編にも出てきたが、②③④のように [z][ts] あるいは [s] の後に機能語の母音が続く場合は要注意。例えば、②の and と④の in はいずれも非常に弱く「ン」のように発音されており、②が individuals in、④が documents and と聞こえてしまってもおかしくない。③の that's a concern に至っては、a がほとんど聞こえない。こうしたものは、文法知識や前後の文脈で補って考えよう。なお、9行目の taxes on, gas or もそれぞれ「タークスイゾン」、「ギャーソア」のように連結することもあるが、今回のインタビューでは一語一語、区切って話されている。


● EJ で聞こう!

このコーナーで耳慣らしをした後、EJの「Mystery Speakers」に挑戦し、余裕がある方は、ディクテーションをするのもよいでしょう。毎月、1つずつ音声現象を学んでいけば、「Tea Time Talk」も、徐々に聞き取りが易くなるはずですよ。また、[今月のルール] がどこに現れるか、スクリプトに印を付け、自分でも発音してみましょう。

● オンライン英会話を使ってみよう!

基本編・応用編を全て学習し終えたら、「アルクオンライン英会話」(詳細は p. 082) で、[今月のルール] に沿って自分でも発音できるかどうか、応用編の英文を使って練習してみましょう。